

市立

小諸高原美術館・白鳥映雪館

開催中 中澤嘉文 作品展

—北信濃の自然とともに五十年—



【ギャラリートークのご案内】

下記のとおりギャラリートークを開催します。油彩画家の中澤嘉文氏をお招きし、展示作品の解説、エピソード等についてお話しいただきます。直接対話を通じて、作品への理解を深めることができる貴重な機会です。

▶日時 5/23(土) 13:30～

▶費用 通常の観覧料(一般500円/小・中学生250円)

【白鳥映雪館の展示のご案内】

「白鳥映雪不屈の画魂・左手で描き残したモノ」

日本画家・白鳥映雪は、90歳で脳梗塞を発症した後は、左手で制作を続けました。本展覧会では、左手で描いた日展、日春展の出品作品、遺作、スケッチのほか、従軍画家の回顧録「幾山河」の原稿、介護施設での創作写真、新聞やテレビの当時の報道記事、手紙などの資料等を合わせて展示します。

▶期間 5/26(火)～8/16(日)

▶観覧料 通常の観覧料。企画展の観覧料と共通です。

▶展示期間中の休館日

5/7(木)、11(月)、18(月)、25(月)、

6/1(月)、8(月)、15(月)、22(月)、29(月)

7/6(月)、7/10(金)～18(土)、21(火)、27(月)、8/3(月)、10(月)

園 市立小諸高原美術館・白鳥映雪館 ☎26-2070



昆虫写真家

海野和男の小諸日記

ヒメアカタテハ

僕が小諸にアトリエを作ったのは35年も前のことだが、当時はヒメアカタテハは秋だけにしか見ることができない蝶だった。幼虫はヨモギの葉を食べ、全国で見られる蝶ではあるが、低地で育った蝶が秋に小諸まで移動してくるのである。

基本、幼虫で冬を越すが、小諸のような寒冷地では越冬は難しく、暖地で越冬した蝶が秋に小諸に飛来するのが一般的だった。20年ほど前から夏にも見かけるようになり、最近は春にも見かけることがある。

2025年の5月4日、庭のシバザクラに飛来したところを撮ることができた。羽化してまもない新鮮な個体で、傷ひとつない。恐らくその日か、前日に羽化したばかりの個体と思う。

幼虫はヨモギを食べるが、温暖化が進行し、冬に幼虫が生育したのだろう。



草刈り・剪定・伐採・その他お困りごと。 お任せください

お見積り無料 お気軽にお問い合わせください！

草刈り	1坪あたり	100円～150円(税込)	※30坪以下は別料金。草丈・地形(傾斜)によって料金が異なります
剪定	1時間あたり	4,000円(税込)	※片付け・運搬・その他に掛かる時間も含まれます
伐採	1mあたり	3,000円～(税込)	※樹高と太さによって料金が異なります
その他お困りごと	その他生活に関わるお困りごとがあれば相談下さい ※内容により金額が変わります		

※各作業 別途基本料金 2,000円 ※各作業の詳細はお問合せ時、またはお見積り時にご説明いたします。

株式会社アルファーム ☎0268-75-7494
〒389-0516 東御市田中253-1 携帯 090-8803-7472
総合サービス事業部 担当: 小林 ※9:00～18:00(月曜日除く)

子育てを応援するフリーマガジン [ママモ]

mamamo

ママモ77号は好評配布中です！

特集・新入園の悩みをシェアしよう！
・ひとり時間どうしてる？

小諸市内をはじめ 佐久地域の幼稚園・保育園で園児一人一人に無料配布しています！

お便り、お写真など投稿募集中 → <https://mamamo.info/>

企画・編集・発行 株式会社アイク 佐久市猿久保805-1 TEL.0267-66-6660 FAX.0267-66-6661

広告欄